

松本 雪久 委員

海外旅行あれこれ



昨今は多くの人が手軽に海外旅行を楽しむ時代になりました。旅行者の多くは、手軽なパックツアーを利用していると思います。しかし、パックではなく、自分で企画して旅行するのもなかなか楽しいものです。

バックなら旅行社が大体の手配をしてくれるので、その指示通りに行動すればスムーズな旅となりますが、自分で考えた行程ではないからか、何年か経つと印象が薄れてしまします。しかし、個人で企画した旅行は下調べもするためか、しばらく経つてもいろいろなることを覚えています。

私は、昨年から今年にかけて、商業施設視察を目的に個人企画で近隣の国を中心に8回ほど海外へ出かけました。それらの旅では、手軽なタクシーはあまり使わずに、バスや地

下鉄等の地元の交通機関をできる限り利用し、現地の消費者の目線で行動するという計画にしました。

近隣の国では英語はあまり通じず、まして私の英語力は中学生程度；、筆談あり、ゼスチャーありの、まさに珍道中となりました。

我ながら気転が利いた思い出があります。数年前の事です。L.A 郊外にあるSC「サウスコーストプラザ」の方を訪ねた時でした。彼曰く、このSCに来るには空港からシヤトルバスに乗れば良いとのこと。さて、空港に降りてバス停を探しましたが、バスは通っているのにバス停が見あたりません。関係者らしき人にどこのバス停で待てばいいのか英語で尋ねましたが、返ってくる言葉は理解できません。他の人に聞いても同じです。いくら聞いても私に

は理解不能でした。諦めてタクシーに乗るしかないか、しかし目的地までは少なくとも200ドルはかかるだろう、もつたいたいなど思案していたところ、よく見ると日本人のツアー客が近くにいます。ツアーにはガイドの方が付いていることに気がきました。恐る恐る日本語で質問してみると、その人は「バス停はありません。あの辺りでスタッフに目的地を言えば、同じ方向に行きたい人を集めて、バスの相乗りで行きたい場所まで送ってくれますよ」と教えてくれました。その時の私は、バスに乗るには必ずバス停があり、そこから乗るものと思いきや、私のです。それがわかれば後は簡単。私の英語力でもスムーズに事が運び、バスは無事目的地のホテル前まで到着しました。代金は40ドル也。

一時が万事既成概念に捕われてしまつと、予想していない事態に対処できません。最初に「理解不能!」と思いついていた部分もありましたが、その場のシステムがわかってしまえば簡単なことでした。この時は現地のガイドさんをタダで利用させてもらったわけですが、ちょっと気転を利かせれば、なんとか道は開けるものです。今でもこの出来事は鮮明に覚えており、私の思い出となっています。

このようなトラブルも個人企画ならではの醍醐味です。まだまだパワー溢れる近隣の国々の視察を手始めに、皆様にもおすすめいたします。

松本雪久 (まつもと ゆきひさ)

1991年、SCの商業環境計画とテナント導入を主業務とする(株)ブレインアンドカンパニーを設立。代表取締役。
主な実績：昭島モリタウン、JR東海「アスティ」「カルミア」、ルミネ「北千住店」「荻窪店」、JR西日本「京都THE CUBE」「姫路駅高架下開発プリエ」など